

『輝けイマリフェスタ』イルミネーション点灯式 20 回目のテーマは『未来へのイルミ』

伊万里商工会議所青年部が、伊万里の冬の風物詩となっている第 20 回イルミネーション点灯式を伊万里駅前公園で開催しました。市丸利幸会長が、「街じゅうを明るくしていきたい」とあいさつしたあと、大勢の観客とともにカウントダウン。駅周辺の街路樹には電飾が点灯し、市内の小学生や特別支援学校の児童・生徒が作ったペットボトルランタンに明かりがともり、一瞬にして華やかになりました。イルミネーションは、2月 28 日（火）までの午後 5～11 時に点灯し、まちの彩りを演出しています。



↑点灯の瞬間、スイッチを押した人たちも驚くほど辺りが華やかになりました

市・大連市友好交流 35 周年記念 『中国を知る』市民公開講座 交流を重ねて深まった友好

伊万里市国際交流協会と伊万里市日中友好協会が、全 3 回の『中国を知る』市民公開講座を大坪コミュニティセンターで開催しました。今年度で、大連市との友好交流は 35 周年を迎え、これまでの交流について学び、友好の歴史を再確認しました。また、餃子づくりを通して参加者同士が交流を深めるとともに、大連市中日友好協会とのリモート交流会では、中国語教室で学ぶ市民が、中国語でスピーチを披露。中日友好協会の于健軍会長が「聞き取りやすい中国語です」と感想を述べ、会場は盛り上がりました。



↑第 2 回（11 月 9 日）のリモート交流会で、パンダについてのスピーチを発表する参加者

取り追う祭 3 年ぶりに火の粉舞う伝統行事

火の粉が舞う中、28 人が二手に分かれて『御供さん』と呼ばれる握り飯を奪い合う伝統行事『取り追う祭』が、二里町大里の神原八幡宮でありました。祭りは、毎年 12 月最初の卯の日の前夜に開催されていて、御供さんを奪おうとする攻め手に、守り手が燃えさかるたいまつを打ち付ける火中合戦。激しい合戦のあと、攻め手が奪った御供さんが、氏子や見物客に配られます。大里区の田代憲太郎区長は、「3 年ぶりで、気合いが入った。若手が多く加わり、祭りの継承に期待が持てた」と熱く語りました。



↑水をかぶって境内の舞台に立つ攻め手に、容赦なくたいまつを打ち付ける守り手

市老連と伊万里実業高校農林キャンパスの連携事業 体験したことを次の世代に伝える

伊万里実業高校農林キャンパス 3 年生の生徒が、南波多老人クラブ女性部の 2 人を講師に迎え、こんにやく芋から作るこんにやくとみそまんじゅうの作り方を教わりました。これは、グリーンライフ授業の一環で、昔ながらの暮らし方や料理などを体験する学習を実践しているものです。また、市老人クラブ連合会と連携し取り組んでいて、講師は老人クラブの会員が務め、交流しています。この日、こんにやく芋を初めて見る生徒もいて、楽しみながら文化を継承していく、とてもよい機会となりました。



↑みそまんじゅう作りで、講師（左）に教わりながら生地であんを包む農林キャンパスの生徒